



下田市議会だより

2月
令和5年
(2023)
No.85

- P 2 萩市と那須町との都市交流について
- P 3・4 各委員会行政視察報告（廃校活用庁舎、ごみ排出量の抑制）
- P 5 総務文教委員会審査報告（選挙運動の公費負担等）
- P 6 産業厚生委員会審査報告（出産・子育て応援金給付事業等）
- P 7～9 市政を問う一般質問
- P 10 議案等の審議結果

「イルミネーション」

萩市都市交流報告

姉妹都市「萩市」との交流を図るため、6名の議員が令和4年11月12日から13日までの2日間、萩市を訪問しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で令和元年来交流が途絶えていましたが、この度久しぶりに訪れることができました。

萩市は山口県の北部に位置し、日本海に面しており、その気候は対馬海流の影響を受け比較的温暖で、人口は44,151人（令和4年3月31日現在）、産業別就業人口は第3次産業が74%を占めるまちで、毛利家36万石の城下町として広く知られ、幕末には吉田松陰先生など明治維新の原動力となった人材を数多く輩出しています。

初日は市役所において歓迎式典が催され、田中市長、長岡議長をはじめ議員の皆様から丁寧な歓迎を受けました。その後の意見交換会では相互が抱える課題について意見を交わし交流を深めて参りました。

翌日は反射炉（世界遺産）、松陰神社・松下村塾（世界遺産）、明倫学舎などを視察しました。明倫学舎において、姉妹都市・友好都市のご当地フェアが開催されており、下田市の特産品として金目鯛スモークボーンなどが出品されていました。

萩市との交流は昭和50年10月28日の姉妹都市提携に始まり、今日までの永きにわたり続いてきました。今後も、幅広い分野での交流を深め、相互の地域活性化を図れることを願っています。



【萩市役所での歓迎式典】

那須町都市交流報告

令和4年1月に市制施行50周年記念事業として、下田市、那須町、葉山町の1市2町による御用邸所在地友好都市協定が締結されました。

友好都市協定締結を機に那須町との交流を図るため、9名の議員が令和4年11月21日から22日までの2日間那須町を訪問しました。

那須町は栃木県の北部に位置し、総面積は372km²と広大で栃木県の6%を占めており、下田市の総面積の3倍となっています。人口は24,418人（令和4年4月1日現在）、第3次産業が産業別就業人口の59%を占めており、御用邸のある町として広く知られています。

初日は町役場において歓迎式典・意見交換会が催され、平山町長、池澤議長をはじめ多くの議員の皆様から丁寧な歓迎を受けました。その後の、意見交換では相互の課題について意見が交わされ、「物産の交流」や「防災協定締結」など多くの提案が成されました。

翌日は廃校を活用した多世代交流拠点「那須まちづくり広場」を視察しました。

今後、友好都市となった下田市、那須町、葉山町と幅広い分野での交流を深め、相互の地域活性化を図れることを願っています。



【那須町議場にて】

那須町を訪問した議員9名のうち、5名が帰宅後に新型コロナウイルス感染症の陽性者となりました。いずれも軽症で家族以外への感染拡大もありませんでした。市民の皆様には大変御心配をおかけいたしました。

総務文教委員会行政視察報告

熊本県南関町廃校活用について

令和4年11月7日（月）、8日（火）熊本県南関町（令和4年現在 人口9,051人）の役場を視察した。

委員会行政視察を行うにあたり事前に委員会メンバーで検討し、テーマを「校舎を改修した庁舎」に決定。

令和4年1月に開庁した南関町の役場は新築棟と廃校舎を利用して建設されており、下田市の庁舎建設計画と同様であるため今後の庁舎建設の審議に資する事を目的として視察を行なった。



【南関町役場新築棟外観】

○新庁舎本館に、住民の方の利用が多い窓口部門を集めることにより利便性を高め、ワンストップサービスを実現していた。

「南の関」と言われる関所があった歴史から、冠木門（かぶきもん）をイメージした力強いデザインの柱、県産材を使用し2階まで吹き抜けにすることにより、木の温もりのある、光こぼれる開かれた佇まいとなっていた。

○旧高校校舎を利用した改修棟は高校校舎の黒板や建具を活用した執務室、障子や竹のモニュメントにより和モダンな雰囲気の議場（旧校舎の音楽室を使用）など全国でも珍しい作りになっていた。

また旧校舎のサッシ、階段の手すり、高校美術部が製作した階段踊り場のスタンドグラス活用していた。

○庁舎敷地内に2つの防災広場と3つの駐車場（約300台）、防災備蓄倉庫、防災拠点センターを配備し、有明消防南関分署も建設されていた。

○敷地面積が約35,000㎡と広大であるため防災と町づくりの拠点となっていて、子育てイベント、スポーツイベントを敷地内で開催している。

○環境配慮技術を取り入れ自然エネルギーを活用した庁舎

南関町産のアモルファス製太陽光発電システム約17.94kwと蓄電池20kwを導入し庁舎のバックアップ電源としている。

新築棟の吹き抜けには、排煙兼用の換気窓、網戸を設け、自然換気を促す開口計画としている。また、外装の高断熱化を行い空調負荷の低減を図っている。

設計価格と実勢価格に約2億円の差異があり増額補正の提案がなされたが、町議会で否決されたため、内装グレードや改修棟の外装工事等を削減するなど再検討の後、再入札を行っていた。

○新築棟と改修棟は隣接しており、渡り廊下で繋がっていた。

改修棟は既設のエレベーター1基、新設エレベーターが1基設置されていた。

【まとめ】

旧音楽室を利用した議場は高さが取れないため議長席も低く、互いが見えにくい危惧があった。

傍聴席が狭いため、玄関ホールでモニターを利用した傍聴ができるようになっていた。

改修棟には手すり、床などをそのまま使用していたが、機能としては支障が無いことが分かった。また事業費削減においては、校舎を改修し、庁舎として利用することは有効と見られた。



【研修中の様子】

循環型社会の形成に向けたごみ排出量抑制について

【現状と課題】

大量生産・大量消費の経済活動により形成された現在の社会は、温室効果ガス排出による地球温暖化問題、天然資源枯渇の懸念とその採取による自然破壊等、様々な自然環境問題を引き起している。この問題を解決するには、天然資源等の消費抑制や環境への負荷を低減させる循環型社会の形成が必要とされており、ごみの減量化や再生利用の推進については住民や事業者等の理解と協力が不可欠である。

本市におけるごみ排出量は、人口減もあり年々減少傾向にある一方、一人一日当たりの排出量は横ばいで国や県の平均値よりも多く、リサイクル率も同平均値を下回っている。また、ごみの組成は紙・布類で減少傾向にあるが、生ごみ等の厨芥類で増加傾向にある。なお、本市は人口と比較し宿泊業や飲食店等の割合が高く、一人一日当たりの排出量が大きな要因とされている。

【行政視察】

1. 神奈川県横須賀市：農福連携（農業分野と福祉分野の双方の課題解決）について

農福連携を進めていくには、パーソルサンクス（株）のような特例子会社が障がい者を雇用し農業に参入するケースや農業経営体が障がい者を雇用するケース、農協が核となりマッチングするケース等があり、現状の下田市においては、農業分野の主体となる組織や人材育成等が先行する課題と考える。

2. 神奈川県三浦郡葉山町：ごみ減量化について

キエーロ[※]による生活系生ごみの減量化は、同町以外の各地で普及している。また、キエーロは自己での製作も可能なことから、地域の木材や黒土の代用として竹パウダーを使用することで障がい者雇用等につながり、経済も含め地域内で循環させることが可能である。

3. 神奈川県茅ヶ崎市：ごみ有料化について

事業活動により生じた事業系ごみは、自らの責任において適正に処理しなければならないことから、ごみ処理手数料の徴収にあたっては処理原価相当額を徴収することが望ましいと考える。なお、葉山町と同様に植木剪定枝の資源化をおこなっており、下田市においても新たな分別・資源化に取り組むべきと考える。

※キエーロ：土の中にいる微生物の力で生ごみを分解する生ごみ処理機



【葉山町役場で販売されているキエーロ】

【政策提言】

- ①事業系ごみと生活系ごみの排出割合及びごみ組成の詳細調査を実施すること
- ②コスト管理の適正化を目的に一般廃棄物会計基準を導入すること
- ③ごみ排出にかかる分別強化とその啓発を推進すること
- ④処理原価に基づく事業系ごみの有料化を検討すること
- ⑤小規模事業者の申請登録及び同事業者のステーション排出基準を検討すること
- ⑥事業系ごみ専用有料ごみ袋の導入を検討すること
- ⑦モニター登録等による生ごみ自家処理を推進すること
- ⑧キエーロの製作と導入を推進すること
- ⑨植木剪定枝等の資源化を検討すること
- ⑩ごみ排出及びリサイクルの数値目標を再検討すること



【研修中の様子】



総務文教委員会所管の主な
補正予算項目等を紹介します。



市議会議員と市長の選挙運動の公費負担に関する条例制定

公費負担制度は、全国の地方議会においては議員のなり手不足が共通課題となる中で、候補者の財政的負担を軽減し、立候補者間の選挙運動の機会均等化を図ることを目的としています。

これは公職選挙法に基づくものですが、静岡県内の市では伊豆市と下田市だけが採用していませんでした。

具体的には選挙運動用自動車の借入れ、燃料代、運転手の雇用、選挙運動用ポスターの作成及び選挙運動用ビラの作成について、上限金額以内で、その費用が負担されるものです。候補者の得票数が、市議会議員選挙では有効投票数を議員の定数で割った数の10分の1以上、市長選挙では有効投票数の10分の1以上であれば届出のあったものに対し適用されます。条例制定により、多くの女性や若者の立候補が期待されます。



問い合わせ：下田市選挙管理委員会 0558-22-2211

ふるさと納税寄附事業 歳入歳出増額補正

令和4年度当初予算で3億円を見込んだふるさと納税寄附額ですが、1億円増額され4億円としました。これにともない歳出に、返礼品の増額として4,500万円、システム使用料1,800万円など計6,318万3千円が増額補正されました。

官民協力を推進した取り組みの好例であり、令和4年度は過去最高の寄附額となる事が確実視され、令和5年度に向けては益々の期待がもたれます。

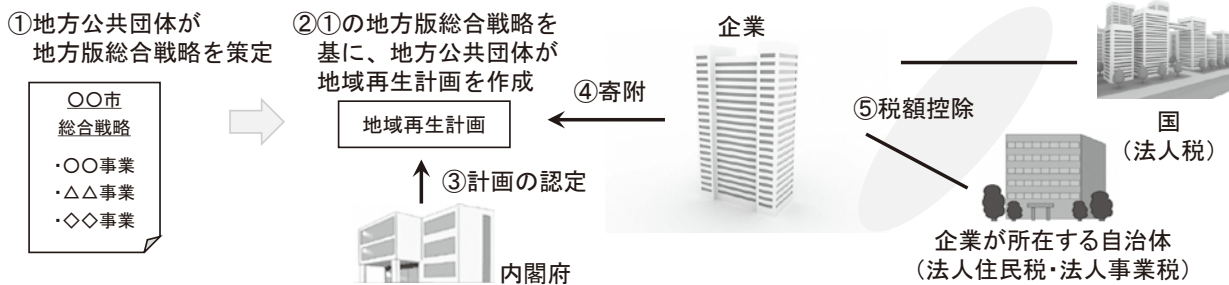
子育て世帯応援給付金支給事業 給付金等 7,036万2千円

原油価格及び食料費等に係る物価高騰の影響を受ける子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、0～18才の子育て世帯に対し子供一人あたり3万円の給付金を支給するものです。高校生と、令和5年4月1日までに出生した新生児も含まれます。

問い合わせ：福祉事務所社会福祉係 0558-22-2216

企業版ふるさと納税基金設置

下田市では新たに企業版ふるさと納税基金を設置しました。企業版ふるさと納税とは、国が認定した地方公共団体の地方創生の取り組みに対し、「企業」が寄附を行った場合に、法人関係税から最大9割が税額控除される制度です。企業側では地域の取組に貢献しつつ法人関係税の軽減効果が得られるというメリットがあります。



要望



先進事例を調査研究し、具体的事業と協力企業の選定にむけて、執行体制の見直しも含め強力で推進するよう要望しました。



産業厚生委員会所管の主な補正予算項目等を紹介します。



指定管理者 外ヶ岡交流拠点施設 1億1,199万円（5年間の債務負担行為）

外ヶ岡交流館の指定管理業務について、下田市観光協会と令和4年度に契約を締結し、令和5年度から令和9年度までの5年間委託するものです。

下田市公の施設の指定管理者選定委員会の審査結果及び管理に関する基本仮協定書、管理業務に関する仕様書、管理運営費計画表等を審査し、指定管理者として適当であると認めました。

提言



施設整備時に交付された静岡県交付金の取扱いと展示内容等の見直し、みなとオアシスの指定及びみなとまちゾーン活性化計画に基づく施設運営のあり方について提言しました。

広域ごみ処理 南伊豆地域清掃施設組合設置（規約の制定）

令和5年4月1日から下田市、南伊豆町、松崎町及び西伊豆町が一般廃棄物の広域ごみ処理施設に関する事務の共同処理を行うにあたり規約を定め、法人格を有する特別地方公共団体としての一部事務組合を設置するものです。

【規約の抜粋】

第3条（組合の共同処理する事務）

- (1) エネルギー回収型廃棄物処理施設（焼却施設）
- (2) マテリアルリサイクル推進施設（資源化施設）

第4条（組合の事務所の位置）

組合の事務所は、下田市敷根13番8号南豆衛生プラント組合汚泥処理クリーンセンター内に置く。

第5条（議会の組織）

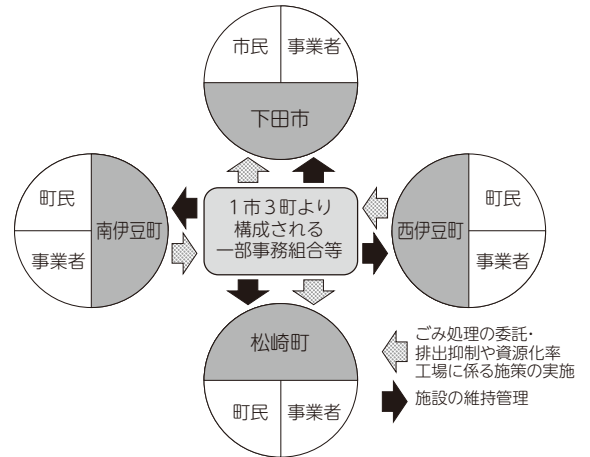
- (1) 下田市4人 (2) 南伊豆町2人
- (3) 松崎町2人 (4) 西伊豆町2人

第12条（経費の支弁方法）

2 前項の負担金は、別表のとおりとする。

別表

経費区分	負担割合（1市3町）
広域ごみ処理施設の建設費（地方債の元利償還金を含む。）	均等割40%、人口割60%
組合及び広域ごみ処理施設の運営費	均等割20%、ごみ量割80%



【一部事務組合等と各市町の関係性】

母子保健 出産・子育て応援金給付事業 1,517万円

令和4年12月、国の第二次補正予算成立に基づく新規事業。妊娠期から出産・子育てまで身近な相談に応じ、経済的な支援も一体として実施することで、全ての家庭が安心して出産・子育てできる環境を整備する事業です。政府は令和5年度以降も、本事業を継続的に実施するとしています。

伴走型相談支援	妊娠届出時、妊娠8ヶ月前後、乳幼児家庭訪問時の相談支援
経済的支援	妊娠届出時に5万円と出生届出時に5万円の計10万円の応援金を現金で支給

参考



新型コロナの各種影響もあり令和3年度の出生数は71人、令和4年度の出生見込数は80人で「第2期下田市総合戦略」に掲げた令和6年度の出生数目標値103人を大きく下回っています。



11月臨時会総括

令和4年11月17日から18日の2日間にわたる臨時議会が開催され、合計12件の議案が上程された他、410署名数による請願第2号と一般会計補正予算に対する修正案が提出されました。

主な案件として、専決処分で価格高騰緊急支援給付事業1億8,510万円が承認されました。電力、ガス、食料品高騰に対する補助金が全額国庫支出されます。令和4年度住民税非課税世帯及び家計急変世帯を対象として令和5年2月15日まで受付ました。一般会計補正予算では、8,173万8千円が追加され、当初予算と合わせ130億74万6千円の歳入となりました。

一般会計補正予算案への修正案は「都市公園整備事業費にコロナ対策交付金が一部充当され、また整備の必要な状態ではない」と減額を求める主旨ですが、賛成少数で否決されました。

「南伊豆地域広域ごみ処理計画」についての特別委員会設置による審議を求める請願は、産業厚生委員会で対応可能として非採択となりました。

12月定例会総括

令和4年12月定例会は、12月7日から19日までの13日間を会期として、本会議と総務文教委員会、産業厚生委員会で審議・審査されました。

提出された議案は、補正予算16件、条例10件、人事2件、その他合わせて21件に加え、発議2件と予算修正動議1件が提出されました。なお、一般質問は2日間にわたり7議員により行われました。

本会議での即決3議案の内①監査委員、②教育委員会委員ともに新たな人選に対して原案通り同意されました。

一般会計補正予算は歳入歳出ともに2億1,788万4千円増となり今年度総額は各132億1,863万円と新型コロナ対策、物価高騰支援策中心に過去になく大きく膨らむ結果となりました。

発議された「南伊豆地域清掃事務組合の設置について」の議案撤回と「新庁舎建設位置条例の違法性」の疑義をもって建設中止を求める発議は賛成少数で否決、また一般会計補正予算の減額修正案も賛成少数で否決となりました。

市政を問う一般質問



下田市役所ホームページから「一般質問」で検索していただくと各議員の一般質問の動画視聴・会議録の閲覧ができます。



沢登英信 議員



【動画】



①旧下田グランドホテルを100万円で購入しても、建物解体に5億円余かかり、防災公園にするのに4億円程見込んで

いる。防災上必要としているが、未だ「下田公園再整備構想」さえ策定されていない。どのように危険なのか検証されていない。むしろ中(丸山)の城や柿崎海沿いのホテル、下田港内の放置漁船の方が危険である。多くの観光地で問題となっており、国県に働きかけ解決すべきです。

②新炉を100億円もかけ、敷根の清掃センターに

①旧下田グランドホテル土地家屋の取得について ②南伊豆地域広域ごみ処理計画について ③「ケアラー支援条例」の制定について



【会議録】

つくり、1市3町のごみを燃やし続けるなど、市民の反対を無視するものです。今ある炉を修理すれば9億円余ですみ、ごみは資源として燃やさない方式を実現すべきです。

③在宅介護するケアラーは、先の見えない介護の中で、心身の健康を害し社会的孤立、離職、虐待などの困難に直面しています。またヤングケアラーの実態も明らかになっています。そこで下田市においてもケアラーを支援する条例が必要となっています。

中村 敦 議員



【動画】



①昨今の道路の維持管理状況においては、その機能と景観においては明らかな「劣化」が見られる。歩道の雑草繁茂、歩けない歩道、はみ出す雑木、落ち葉、中央分離帯の雑草、垂れ下がる樹木等、通行する度に辟易し、市民からの不平不満も多い。路面清掃車は近年見かけなくなった。環境の美化は文化水準を表し、観光地においてはおもてなしの精神が問われ、来遊客や移住希望者の印象に大きく影響する。この事態をどう認識し、問題視しているのか。これまでとこれからの行政の取り組みと改善について問いました。

①道路の維持管理と環境美化について ②教育のICT活用推進といじめ等諸問題について ③吉佐美・舞磯浜の市道と海岸空地の工作物について



【会議録】

②GIGAスクール構想により市内小中学生全てに一人一台端末、さらに持ち帰り用のルーターとバッテリーも購入し、ハード面では十分に整ったところ。学級閉鎖時や災害時のオンライン授業は可能か、またいじめや不登校への対応で成果を上げている他市町の事例もあるが、当市ではどうか等、その利活用について問いました。

③吉佐美舞磯浜の海岸空地への通行と工作物について、地元からトラブルの報告と解消の要望が出ている。市と県はこれにどう対処し解決していくのか、今後の方策と展望について問いました。

鈴木 孝 議員



【動画】



令和元年6月、定例議会での一般質問で災害備蓄品として、紙おむつ、女性用生理用品、液体ミルクなどの備蓄を進めるよう提案をした。

その後液体ミルク、紙おむつ、生理用品も災害備蓄品に加えられたが、どこに保管して災害時に被災者にどのように届けるのかが課題として残っていると思われる。

備蓄品の保管場所、種類、数量の状況を伺った。

①下田市の災害備蓄品の備蓄状況
②公共施設へのサニタリーボックス設置



【会議録】

また、日本は高齢化社会を迎え、加齢の影響や男性に多い病気である、膀胱癌、前立腺癌の手術を受けた影響による尿漏れに苦慮している方が増えていることから、使用済みの尿とりパッド等を捨てるサニタリーボックスの設置が必要と考えられる。

下田市公共施設に於ける男性用個室トイレ内のサニタリーボックスの設置状況とこの先の設置計画を伺った。

橋本 智洋 議員



【動画】



①下田市のマイナンバーカードの交付状況は58.8%で県内5番目でした。これは市民保健課の努力の成果が非常に大きいと感じていますが、今後の利用促進とそれらを使いこなす住民の技能の向上に向けて、コンビニ交付手数料の値引きや行政サービスのオンライン化、住民周知など人員増を含めた積極的な政策展開を問いました。

②現在の新庁舎建設計画について、計画を一部修正し、議会関係機能は2年間の暫定で新築棟へ

①マイナンバーカードの利用促進と市民のデジタル技能の向上に関して
②新庁舎整備計画と議会関係機能の配置検討について



【会議録】

再移転するのではなく、そのまま旧校舎での運用が可能と考えます。住民ファーストを考えて、住民が来る窓口などの場所や危機管理機能へと優先して財源を充当すべきではないかを問いました。優先順位を明確にして新庁舎建設を進めるべきではないでしょうか。建設事業コストをおさえることが、最優先だと考えますが、その他、環境、使い勝手など、多分な要素があり、優先順位はつけがたいですが、その中でも特に何を重視するかを問いました。

佐々木清和 議員



【動画】



①南伊豆町は、広域ごみ処理計画の事務組合の議案を否決、市長が進めた共同処理を進める計画は破綻、考えを確認。

②市は大規模な事業を計画している、市税、地方交付税収入等経常的な収入と職員の人件費、維持管理費等の経常支出は財政の原則、必要最小限の経費で最大の効果を実現することを再確認し、無駄な経費の削減、放埒な計画の見直しを進め市民のための事業実施の財源を生み出すべき。

①市長の政治姿勢と庁舎移転事業・南伊豆広域事業等重点施策の問題点 ②令和5年度下田市一般会計予算についての私の提言 ③下田市職員のサービス残業など働き方について



【会議録】

また、幼稚園児、小中学校の児童生徒の学校給食費を無料としている、公費負担実現を評価、令和5年度も子供たち給食費の公費負担による無料化を継続すべき。

③市職員組合から私への抗議文について反論、職員は定数が削られる中で事務量が増大しサービス残業が常態化しているという指摘があった。サービス残業の実態を求めた。任命権者としての市長の職務対応並びに職員の服務について民主的な職員研修を実施すべき。

江田邦明 議員



【動画】



スポーツ・文化及び都市交流の振興に関わらず十分な財源を確保できない場合、これまでも事業縮小や事業廃止等、やむを得ない選択をしてきました。税収等による財源の確保が非常に難しい今だからこそ、ふるさと納税制度による寄附は未来にむけた「人」や「まち」づくりにかかる事業に活用していくべきだと考えます。また、下田市は市政施行50周年にあわせ御用邸所在地の葉山町及び那須町と友好都市にな

スポーツ・文化及び都市交流の振興



【会議録】

りました。今後、災害時相互援助協定の締結が予定されていますが、その根底には平時からの住民交流が欠かせないと考えます。

こうした観点から、これまでに私が提言したふるさと納税制度への事業分野の追加、事業選択型及びクラウドファンディング型の導入について、今後のスポーツ・文化及び都市交流にかかる財源の確保やその事業内容について問い、新たな基金の必要性について強く提言しました。

矢田部邦夫 議員



【動画】



下田市は人口約2万人、起債（借金）約227億円の状況を踏まえ下記の質問をしました。

①下水道の進捗状況と今後の課題と浄化槽との関係

上下水道の料金の値上げについて質問した。

②市民合意なし、議会での議論なし、段取りに疑問ダラケの1市3町広域ごみ処理事業

令和5年度に環境アセスメントの調査結果がでた後、場所を決定するのだから、(南伊豆地域清掃施設組合設置) は時期尚早だと質問をした。

③調査、説明が不十分な旧下田グランドホテル取

①下水道の進捗状況と今後の課題と浄化槽との関係 ②市民合意なし、議会での議論なし、段取りに疑問ダラケの1市3町広域ごみ処理事業 ③調査、説明が不十分な旧下田グランドホテル取得事業 ④計画性なき、行き当たりバッタリ、ムダが多い庁舎建設事業



【会議録】

得事業

買い受け人が断った理由を説明できない事と調査不足を考えると取得時期は今ではないと質問をした。

③計画性なき、行き当たりバッタリ、ムダが多い庁舎建設事業

市長が、国道からの入り口を断った事と延期した事でやらなくても良い事業を進めムダ遣いに繋がった。校舎改修後、グラウンドへ新築棟、元予定地が駐車場合わせ16,550㎡を20年間、市が所有する事はムダではないのかと質問をした。

令和4年11月臨時会・12月定例会 審議結果



発行 下田市議会
編集 広報委員会
住所 下田市東本郷一丁目5番18号

TEL 0558-22-2220
FAX 0558-27-1511
E-mail: gkaijin@city.shimoda.lg.jp

広報委員会
委員長 江田邦明
副委員長 中村 敦
委員 鈴木 孝 佐々木清和 進士濱美

議会HP



番号	議案件名	審議結果
報第14号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度下田市一般会計補正予算(第8号))	承認
議第52号	下田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第53号	下田市特別職の常勤職員給与支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第54号	下田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第55号	下田市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第56号	下田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第52-62号	令和4年度下田市一般会計補正予算(第9号)【他5会計補正予算】	原案可決
請願第2号	南伊豆地域広域ごみ処理計画等についての特別委員会設置の請願	不採択
	議案の撤回を求める動議	否決
議第63号	監査委員の選任について	同意
議第64号	教育委員会委員の任命について	同意
議第65号	静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部を変更する規約について	原案可決
議第66号	下田市外ヶ岡交流拠点施設指定管理者の指定について	原案可決
議第67号	南伊豆地域清掃施設組合の設置について	原案可決
議第68号	下田市議会議員及び下田市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について	原案可決
議第69号	下田市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	原案可決
議第70号	下田市情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について	原案可決
議第71号	下田市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第72号	下田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第73号	下田市企業版ふるさと納税基金条例の制定について	原案可決
議第74号	下田市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第75号	下田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第76号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
議第77号	財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第78-83号	令和4年度下田市一般会計補正予算(第10号)【他5会計補正予算】	原案可決
請願第3号	下田市議会総務文教常任委員会委員長中村敦議員の下田市条例制定請求署名活動に関する同議員の行動についての請願	不採択
発議第6号	下田市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	原案可決
発議第7号	下田市役所の位置に関する条例を無視して進められている庁舎移転計画の中止決議	否決
	産業厚生常任委員会の閉会中の継続審査申出書について	

《賛否の分かれた議案》

(○:賛成 ×:反対 欠:欠席 -:退席)

番号	11月臨時会・12月定例会議案件名	江田邦明	中村敦	鈴木孝	渡邊照志	矢田部邦夫	佐々木清和	滝内久生	小泉孝敬	進士濱美	橋本智洋	進士為雄	大川敏雄	沢登英信	審議結果
議第55号	下田市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	×	原案可決
議第57号	令和4年度下田市一般会計補正予算(第9号)	×	○	○	○	×	×	/	○	×	○	○	○	×	原案可決
	令和4年度下田市一般会計補正予算(第9号)(修正案)	○	×	×	×	○	○	/	×	○	×	×	×	○	否決
請願第2号	南伊豆地域広域ごみ処理計画等についての特別委員会設置の請願	×	×	×	×	○	○	/	×	○	×	×	×	○	不採択
議第67号	南伊豆地域清掃施設組合の設置について	○	○	○	○	×	×	/	○	×	○	○	○	×	原案可決
議第77号	財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	×	原案可決
議第78号	令和4年度下田市一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	×	×	/	○	×	○	○	○	×	原案可決
	令和4年度下田市一般会計補正予算(第10号)(修正案)	×	×	×	×	○	○	/	×	○	×	×	×	○	否決
請願第3号	下田市議会総務文教常任委員会委員長中村敦議員の下田市条例制定請求署名活動に関する同議員の行動についての請願	×	-	×	×	-	×	/	×	-	×	×	×	○	不採択
発議第7号	下田市役所の位置に関する条例を無視して進められている庁舎移転計画の中止決議	×	×	×	×	○	○	/	×	×	×	×	×	○	否決

※議長(滝内久生)は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

表紙写真の紹介

撮影者



静岡県立下田高等学校写真部
13HR 栗田永海さん

学校の帰りに友達と下田に行きました。その時、下田駅の近くにきれいなイルミネーションがあったので、写真を撮りました。すごくきれいだったので、また見に行きたいです。下田には他にもきれいな所がたくさんあるのでまた写真を撮りたいです。

撮影場所
下田駅前(香煎通り)にて



編集後記

欧州は黄色、米国は黄金、中国が白、日本の主流は赤。太陽を赤とする国は世界でも少ない。色を感じる国別の違いは、月でも同様に白、黄色、青と国により変化する。さらに7色の虹色も、8色、7色、4色、2色と見え方は異なり「七色の虹」は日本など少数である。はたまた、谷崎純一郎は「我々の国語はおしゃべりに適せず、意味合いは不確定」と言う。日本の法律、議会の議論の有り方や一般的対話での深いズレを感じる場面が多いと思う。現在でも翻訳を通じた明治期からの近代化でのズレは残っているようです。(進)

議会活動に役立てるため、皆様の声を電話・メール・FAXで右記(欄外記載)までお寄せください。



●この広報誌は、ユニバーサルデザインをコンセプトに開発された可読性・視認性・判別性に優れたUDフォントを使用しています。
●この広報誌は、再生紙を使用しています。